

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)			2025年度(令和7年度)年度計画		
前文					
(略)					
第1 中期計画の期間					
令和4年4月1日から令和8年3月31日までの4年間とする。					
第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置			第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置		
1 市民病院が担うべき医療			1 市民病院が担うべき医療		
(1) 救急医療			(1) 救急医療		
ア 地域の中核病院としての救急医療の充実 救急車を原則として断らない体制を維持しながら、24時間365日、地域住民に安心・安全な救急医療を提供する。 また、病院再整備事業の施設整備を通して「救急ワークステーション」の機能強化を図る中で、救急隊員の資質向上や救命率向上に取り組むなど、地域の中核病院として救急医療の充実を図る。			ア 地域の中核病院としての救急医療の充実 救急車を原則として断らない体制を維持しながら、24時間365日、地域住民に安心・安全な救急医療を提供する。 また、病院再整備事業の 中で拡充した 救急ワークステーションの 運用を通して 救急隊員の資質向上や救命率向上に取り組む。 さらに、救急科医の確保に努めるとともに、救急センターに配置した救急救命士の活用等により、 地域の中核病院として救急医療の充実を図る。		
イ 救急搬送患者の円滑な受入れ 消防等の関係機関と連携を図りながら、円滑な救急搬送患者の受入れに努めるとともに、中山間地域等からのドクターヘリによる搬送患者についても積極的に受入れを行う。			イ 救急搬送患者の円滑な受入れ 消防等の関係機関と連携を図りながら、円滑な救急搬送患者の受入れに努めるとともに、中山間地域等からのドクターヘリによる搬送患者についても積極的に受入れを行う。		
ウ 重症患者の緊急治療・検査、緊急入院への対応 脳卒中や心筋梗塞、四肢外傷等の急性期患者に対する緊急治療・検査に迅速に対応するとともに、緊急入院患者の円滑な受入れを図る。			ウ 重症患者の緊急治療・検査、緊急入院への対応 脳卒中や心筋梗塞、四肢外傷等の急性期患者に対する緊急治療・検査に迅速に対応するとともに、緊急入院患者の円滑な受入れを図る。		
エ 長野市医師会との協働による夜間初期救急医療の提供 長野市医師会との協働による長野市民病院・医師会 急病センターの運営を継続し、夜間初期救急医療を提供する。			エ 長野市医師会との協働による夜間初期救急医療の提供 長野市医師会との協働による長野市民病院・医師会 急病センターの運営を継続し、夜間初期救急医療を提供する。		
オ 地域の救急医療の質向上 救急隊との症例検討会の開催をはじめ、業務範囲拡大も踏まえた救急救命士のトレーニング及び医療従事者向け蘇生トレーニングコースへの協力などを通して、院内外の救急に携わるスタッフのスキルアップを支援する。			オ 地域の救急医療の質向上 救急隊との症例検討会の開催をはじめ、業務範囲拡大も踏まえた救急救命士のトレーニング及び医療従事者向け蘇生トレーニングコースへの協力などを通して、院内外の救急に携わるスタッフのスキルアップを支援する。		
【目標指標】			【目標指標】		
指標	2022年度実績	2025年度目標	指標	2023年度実績	2025年度目標
救急車搬送受入件数の長野医療圏全体の救急車搬送件数に占める割合(%)	19.1	18.0	救急車搬送受入件数の長野医療圏全体の救急車搬送件数に占める割合(%)	17.2	18.0
(注1)長野医療圏全体の救急車搬送件数とは、長野市消防局、須坂市消防本部及び千曲坂城消防本部の救急車搬送件数の合計。 (注2)2022年度～2025年度の目標値は別紙1を参照。(以下、他項目の目標値も同様とする。)			(注1)長野医療圏全体の救急車搬送件数とは、長野市消防局、須坂市消防本部及び千曲坂城消防本部の救急車搬送件数の合計。		
【関連項目】			【関連項目】		
項目	2022年度実績		項目	2023年度実績	
救急患者受入件数(件)	17,480		救急患者受入件数(件)	16,250	
救急入院患者受入件数(件)	3,857		救急入院患者受入件数(件)	3,672	

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)			2025年度(令和7年度)年度計画		
(2) がん診療			(2) がん診療		
ア 地域がん診療連携拠点病院としての高度専門的ながん診療の提供 地域がん診療連携拠点病院として、がん集学的治療を推進し、高度専門的ながん診療の提供を図る。 また、がんセンターを中心とした多職種によるチーム医療を推進し、患者の状態に応じた適切な治療を提供するとともに、がんに関わる有資格者の確保・育成を図り、がん診療の水準維持・向上に努める。 イ 先進技術を活用した手術の推進 患者の体に対する負担(侵襲)を減らしつつ治療効果の向上を図るため、先進技術を活用し、ロボット支援手術を含む内視鏡手術等を推進する。 ウ 放射線治療の推進 放射線治療に関する有資格者を配置し、患者ニーズに応じて、様々な治療法の中から適切な方法を選択し、安全で高度な放射線治療の提供を図る。 エ 薬物療法の推進 薬物療法に関する有資格者を配置し、院内横断的なチーム医療を通して適切な治療や支援を行うとともに、病院再整備事業の中で化学療法センターを拡充し、薬物療法の一層の充実を図る。 また、院外調剤薬局との連携を推進し、外来化学療法の質を高める。 オ がんゲノム医療の推進 がんゲノム外来に認定遺伝カウンセラーを配置し、がんゲノム医療連携病院としてがんゲノム医療並びに遺伝性腫瘍に対応する。 カ 緩和ケア提供体制の強化 緩和ケアセンターに専従のジェネラルマネージャーをはじめとするがんに関する有資格者を配置し、傘下の緩和ケアチームの活動等を通して院内の連携を強化する中で、専門的な緩和ケアの提供を図る。 また、がん患者やその家族に対して、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)を含めた意思決定支援の提供を図る。 キ がん周術期等の口腔ケアの推進 口腔ケア認定資格を有する歯科医師及び歯科衛生士を配置し、口腔ケアチーム等の活動を通して、がん手術患者や薬物療法患者等の口腔ケアを推進する。 ク 相談支援体制の充実 国立がん研究センター認定がん相談支援センターとして、専門的な知識を有する相談員の配置や利便性への配慮等により、院内外のがん患者・家族、医療機関等からの相談等に適切に対応する。 また、就労支援についても、地域におけるがん患者の治療と仕事の両立支援を推進する。			ア 地域がん診療連携拠点病院としての高度専門的ながん診療の提供 地域がん診療連携拠点病院として、がん集学的治療を推進し、高度専門的ながん診療の提供を図る。 また、がんセンターを中心とした多職種によるチーム医療を推進し、患者の状態に応じた適切な治療を提供する。 さらに、「胃・食道外科」を開設するほか、がんに関わる有資格者の確保・育成を図り、がん診療の水準維持・向上に努める。 イ 先進技術を活用した手術の推進 患者の身体的負担(侵襲)を減らし、更なる治療効果の向上を図るため、手術支援ロボットを2台体制で運用し、ロボット手術センターを中心に先進技術を活用した手術を推進する。 ウ 放射線治療の推進 放射線治療に関する有資格者を配置し、最新機種に更新した放射線治療装置(リニアック)を活用する中で、患者ニーズに応じて、様々な治療法の中から適切な方法を選択し、安全で高度な放射線治療の提供を図る。 エ 薬物療法の推進 薬物療法に関する有資格者を配置し、院内横断的なチーム医療を通して適切な治療や支援を行い、病院再整備事業で拡充した薬物療法センターにおいて安全で質の高いがん薬物療法の提供を図る。 また、院外調剤薬局との連携を推進し、外来がん薬物療法の質を高める。 オ がんゲノム医療の推進 がんゲノム外来に認定遺伝カウンセラーを配置し、がんゲノム医療連携病院としてがんゲノム医療並びに遺伝性腫瘍に対応する。また、院外からの紹介を積極的に受け入れる。 カ 緩和ケア提供体制の強化 緩和ケアセンターに緩和ケアに関する有資格者を配置し、緩和ケアチームの活動等を通して院内外の連携を強化し、できるだけ患者やその家族の希望にかなう緩和ケアの提供を図る。 また、がん患者やその家族に対して、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)を含めた意思決定支援の提供を図る。 キ がん周術期等の口腔ケアの推進 口腔ケア認定資格を有する歯科医師及び歯科衛生士を配置し、口腔ケアチーム等の活動を通して、がん手術患者や薬物療法患者等の口腔ケアを推進する。 ク 相談支援体制の充実 国立がん研究センター認定がん相談支援センターとして、専門的な知識を有する相談員の配置や利便性への配慮等により、院内外のがん患者・家族、医療機関等からの相談等に適切に対応する。 また、就労支援についても、地域におけるがん患者の治療と仕事の両立支援を推進する。		
【目標指標】			【目標指標】		
指標	2022年度実績	2025年度目標	指標	2023年度実績	2025年度目標
がん新入院患者数(人)	2,694	3,000	がん新入院患者数(人)	2,805	3,000

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)	2025年度(令和7年度)年度計画																				
【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr> <tr> <td>放射線治療延べ患者数(人)</td><td>511</td></tr> <tr> <td>薬物療法件数(件)</td><td>9,421</td></tr> <tr> <td>がん手術件数(件)</td><td>1,169</td></tr> <tr> <td>がん相談件数(件)</td><td>1,508</td></tr> </table> (注1)放射線治療延べ患者数は、一連の治療計画について1人として計上する。 (注2)薬物療法件数は、抗がん剤、ホルモン剤等の経口または静注による延べ治療件数。	項目	2022年度実績	放射線治療延べ患者数(人)	511	薬物療法件数(件)	9,421	がん手術件数(件)	1,169	がん相談件数(件)	1,508	【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr> <tr> <td>放射線治療延べ患者数(人)</td><td>559</td></tr> <tr> <td>薬物療法件数(件)</td><td>9,477</td></tr> <tr> <td>がん手術件数(件)</td><td>1,192</td></tr> <tr> <td>がん相談件数(件)</td><td>1,290</td></tr> </table> (注1)放射線治療延べ患者数は、一連の治療計画について1人として計上する。 (注2)薬物療法件数は、抗がん剤、ホルモン剤等の経口または静注による延べ治療件数。	項目	2023年度実績	放射線治療延べ患者数(人)	559	薬物療法件数(件)	9,477	がん手術件数(件)	1,192	がん相談件数(件)	1,290
項目	2022年度実績																				
放射線治療延べ患者数(人)	511																				
薬物療法件数(件)	9,421																				
がん手術件数(件)	1,169																				
がん相談件数(件)	1,508																				
項目	2023年度実績																				
放射線治療延べ患者数(人)	559																				
薬物療法件数(件)	9,477																				
がん手術件数(件)	1,192																				
がん相談件数(件)	1,290																				
(3) 脳・心臓・血管診療 ア 脳卒中治療の充実 地域的一次脳卒中センターとしての役割を果たすため、急性期脳梗塞に対するrt-PA(アルテプラゼ)静注療法や血栓回収療法等の脳血管内治療を積極的に推進し、脳卒中ケアユニット(SCU)を有効活用する中で、脳卒中治療の充実を図る。 イ 心臓・血管診療の充実 急性心筋梗塞や狭心症等の虚血性心疾患、心房細動などの不整脈疾患をはじめとする様々な循環器系疾患に対し、循環器内科や心臓血管外科等が連携し、先進的な技術を積極的に取り入れてカテーテル治療や外科手術等の適切な治療を提供する。 また、下肢の血流障害に対して血管内治療等を提供するなど、足の治療に関する幅広いニーズにも対応する。 ウ 糖尿病治療の充実 糖尿病の治療や療養に関する有資格者を配置し、チーム医療による療養指導や入院や外来での栄養指導、糖尿病教室の開催など糖尿病患者に対する指導を積極的に行い、重症化防止に取り組む。 また、糖尿病・腎センターによる地域の医療従事者向けの研修会や地域住民向けの講演会などを開催し、地域の糖尿病治療の質向上や糖尿病予防を図る。 エ 透析治療の充実 透析治療に関する有資格者を配置し、患者の状態に応じてチーム医療による安心・安全な透析治療を提供するとともに、病院再整備事業の中で透析室を移転・拡充して透析センターとしてオープンし、透析治療の一層の充実を図る。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr> <tr> <td>脳血栓回収療法件数(件)</td><td>54</td></tr> <tr> <td>心臓カテーテル治療件数(件)</td><td>156</td></tr> <tr> <td>維持透析延べ回数(回)</td><td>8,372</td></tr> </table>	項目	2022年度実績	脳血栓回収療法件数(件)	54	心臓カテーテル治療件数(件)	156	維持透析延べ回数(回)	8,372	(3) 脳・心臓・血管診療 ア 脳卒中治療の充実 地域的一次脳卒中センターとしての役割を果たすため、急性期脳梗塞に対するrt-PA(アルテプラゼ)静注療法や血栓回収療法等の脳血管内治療注8)を積極的に推進し、脳卒中ケアユニット(SCU)を有効活用する中で、脳卒中治療の充実を図る。 イ 心臓・血管診療の充実 急性心筋梗塞や狭心症等の虚血性心疾患、心房細動などの不整脈疾患をはじめとする様々な循環器系疾患に対し、循環器内科や心臓血管外科等が連携し、先進的な技術を積極的に取り入れてカテーテル治療や外科手術等の適切な治療を提供する。 また、下肢の血流障害に対して血管内治療等を提供するなど、足の治療に関する幅広いニーズにも対応し、 <u>高齢者の血管治療の質向上を図る。</u> ウ 糖尿病治療の充実 糖尿病の治療や療養に関する有資格者を配置し、チーム医療による療養指導や入院や外来での栄養指導、糖尿病教室の開催など糖尿病患者に対する指導を積極的に行い、重症化防止に取り組む。 また、糖尿病・腎センターによる地域の医療従事者向けの研修会や地域住民向けの講演会などを開催し、地域の糖尿病治療の質向上や糖尿病予防を図る。 エ 透析治療の充実 病院再整備事業の中で拡充した透析センターに 透析治療に関する有資格者を配置し、患者の状態に応じてチーム医療による安心・安全で <u>プライバシーや感染対策に配慮した</u> 透析治療を提供しながら、 <u>維持透析延べ回数の増加を図る。</u> 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr> <tr> <td>脳血栓回収療法件数(件)</td><td>36</td></tr> <tr> <td>心臓カテーテル治療件数(件)</td><td>177</td></tr> <tr> <td>維持透析延べ回数(回)</td><td>8,486</td></tr> </table>	項目	2023年度実績	脳血栓回収療法件数(件)	36	心臓カテーテル治療件数(件)	177	維持透析延べ回数(回)	8,486				
項目	2022年度実績																				
脳血栓回収療法件数(件)	54																				
心臓カテーテル治療件数(件)	156																				
維持透析延べ回数(回)	8,372																				
項目	2023年度実績																				
脳血栓回収療法件数(件)	36																				
心臓カテーテル治療件数(件)	177																				
維持透析延べ回数(回)	8,486																				

第3期中期計画（公立病院経営強化プラン）			2025年度（令和7年度）年度計画		
(4) 手術・集中治療			(4) 手術・集中治療		
ア 手術部門の体制強化 医師・看護師等のスタッフの適切な確保を図るとともに、手術室の運用効率化を検討し、手術部門の体制強化に取り組む。 また、専門知識を有するスタッフで構成する周術期管理チームの活動を推進し、手術を受ける患者に安心・安全な周術期環境を提供する。			ア 手術部門の体制強化 医師・看護師等のスタッフの適切な確保を図るとともに、手術室の運用効率化を検討し、手術部門の体制強化に取り組む。 また、専門知識を有するスタッフで構成する周術期管理チームの活動を推進し、手術を受ける患者に安心・安全な周術期環境を提供する。		
イ 集中治療部門の機能充実 集中治療室（ICU）及びハイケアユニット（HCU・ECU）において、より安全で良質な集中治療を提供するとともに、病床の有効利用を図る。			イ 集中治療部門の機能充実 集中治療室（ICU）及びハイケアユニット（HCU・ECU）において、より安全で良質な集中治療を提供するとともに、病床の有効利用を図る。		
【目標指標】			【目標指標】		
指標	2022年度実績	2025年度目標	指標	2023年度実績	2025年度目標
全身麻酔手術件数(件)	3,003	2,950	全身麻酔手術件数(件)	2,989	2,950
(5) 高齢者等に配慮した医療			(5) 高齢者等に配慮した医療		
認知症ケアチームの活動の充実を図り、高齢者等で認知症を持つ急性期患者に適切な認知症ケアを提供できる体制を強化するほか、早期退院や寝たきり防止、QOL(生活の質)の向上などを目指して、排尿ケアチームによる排尿自立指導に取り組む。 また、高齢者の軽症急性期入院については、地域包括ケア病棟を活用し、適切に対応する。			認知症ケアチームの活動の充実を図り、高齢者等で認知症を持つ急性期患者に適切な認知症ケアを提供できる体制を強化するほか、 <u>身体的拘束最小化チームを中心に入院患者への身体的拘束の最小化に取り組む、高齢者のADL(日常生活動作)の維持・向上を図る。</u> <u>また、早期退院や寝たきり防止、QOL(生活の質)の向上などを目指して、排尿ケアチームによる排尿自立指導に取り組む。</u> <u>一方、高齢者の軽症急性期入院については、病院再整備事業の中で新棟に移転・増床した</u> 地域包括ケア病棟を活用し、 <u>充実した機能訓練、在宅復帰支援に取り組む。</u>		
【関連項目】			【関連項目】		
項目	2022年度実績		項目	2023年度実績	
認知症ケアチーム新規介入件数(件)	971		認知症ケアチーム新規介入件数(件)	997	
(6) 急性期後の患者に対する医療			(6) 急性期後の患者に対する医療		
地域の医療機関や介護サービス事業所と緊密に連携しながら、24時間訪問看護体制の強化を図る。 また、地域包括ケア病棟を効率的に運用するとともに、病院再整備事業の中で移転・拡充を行い、在宅復帰支援やサブアキュート機能及びレスパイト機能など、地域で求められるニーズへの対応の強化を図る。			地域の医療機関や介護サービス事業所と緊密に連携しながら24時間訪問看護体制の強化を図る <u>ほか、スタッフの確保などによるリハビリテーションの提供体制強化を図る。</u> また、地域包括ケア病棟を効率的に運用するとともに、在宅復帰支援やサブアキュート機能及びレスパイト機能など、地域で求められるニーズへの対応の強化を図る。		
【目標指標】			【目標指標】		
指標	2022年度実績	2025年度目標	指標	2023年度実績	2025年度目標
地域包括ケア病棟への直接入院患者数(人)	541	720	地域包括ケア病棟への直接入院患者数(人)	667	720
理学療法件数(件)	56,979	58,607	理学療法件数(件)	54,189	58,607
作業療法件数(件)	32,405	36,006	作業療法件数(件)	32,434	36,006
言語療法件数(件)	19,104	23,880	言語療法件数(件)	20,595	23,880
【関連項目】			【関連項目】		
項目	2022年度実績		項目	2023年度実績	
在宅復帰率(7対1病棟)(%)	96.9		在宅復帰率(7対1病棟)(%)	97.1	
在宅復帰率(地域包括ケア病棟)(%)	84.0		在宅復帰率(地域包括ケア病棟)(%)	82.1	

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)	2025年度(令和7年度)年度計画														
(7) 子どもに関わる医療	(7) 子どもに関わる医療														
ア 小児心身症・発達障害等の小児医療の推進 地域の医療・福祉機関や教育機関等と連携し、子どものこころ発達医療センターを中心とした院内の多職種によるチーム医療を通して、小児心身症・発達障害等の専門的な治療やリハビリテーションを推進する。	ア 小児心身症・発達障害等の小児医療の推進 地域の医療・福祉機関や教育機関等と連携し、院内の多職種によるチーム医療を通して、小児心身症・発達障害等の専門的な治療やリハビリテーションを推進する。														
イ 不妊治療の推進 生殖医療センターに生殖医療や不妊症看護に関する専門職を配置し、高度生殖医療を提供して不妊治療を推進する。	イ 不妊治療の推進 生殖医療センターに生殖医療や不妊症看護に関する専門職を配置し、高度生殖医療を提供して不妊治療を推進する。														
ウ 病児・病後児保育への対応 市の政策と連携し、院内託児所を活用した病児・病後児保育を実施する。	ウ 病児・病後児保育への対応 市の政策と連携し、院内託児所を活用した病後児保育を適切に運用する。														
【関連項目】															
<table><tr><th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr><tr><td>子どものこころ発達医療センター患者数(人)</td><td>848</td></tr></table>	項目	2022年度実績	子どものこころ発達医療センター患者数(人)	848											
項目	2022年度実績														
子どものこころ発達医療センター患者数(人)	848														
(8) 予防医療	(8) 予防医療														
市の健康福祉部門と連携しながら、人間ドックをはじめとする健診事業を通して、糖尿病や循環器病、フレイル等の予防啓発並びにがんその他生活習慣病の早期発見・早期治療を推進する。 また、病院再整備事業の中で健診部門を移転・拡充し、スタッフ確保や運営の効率化を図る中で、予約の取りにくい人間ドックの受入状況を改善するほか、健診の質的向上並びに快適性・利便性の向上を図る。	病院再整備事業の中で新棟に移転・拡充した健診センターにおいて、市の健康福祉部門と連携しながら、人間ドックをはじめとする健診事業を通して、糖尿病や循環器病、フレイル)、骨粗しょう症等の予防啓発や、マンモグラフィまたは超音波検査による市民乳がん検診の実施等により、がんその他生活習慣病の早期発見・早期治療を推進する。 また、健診の質的向上を図るほか、運営体制の強化や効率化を図りながら、受診者のニーズに沿った健診メニューの提供や受診枠の拡大により利用者数の増加を図る。 さらに、MASH(代謝異常関連脂肪性肝炎)外来の運用等により、肝疾患の早期発見・早期治療に努める。														
【目標指標】	【目標指標】														
<table><tr><th>項目</th><th>2022年度実績</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>人間ドック延べ利用者数(人)</td><td>7,676</td><td>9,557</td></tr></table>	項目	2022年度実績	2025年度目標	人間ドック延べ利用者数(人)	7,676	9,557	<table><tr><th>指標</th><th>2023年度実績</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>人間ドック延べ利用者数(人)</td><td>7,765</td><td>9,557</td></tr></table>	指標	2023年度実績	2025年度目標	人間ドック延べ利用者数(人)	7,765	9,557		
項目	2022年度実績	2025年度目標													
人間ドック延べ利用者数(人)	7,676	9,557													
指標	2023年度実績	2025年度目標													
人間ドック延べ利用者数(人)	7,765	9,557													
(9) 災害時対応	(9) 災害時対応														
ア 災害発生時の備えとしての医療・救護体制の整備 市との連携のもと、あらゆる災害を想定し、BCP(事業継続計画)の継続的な見直しを行うとともに、訓練や研修を充実させるなど医療・救護体制の整備を図る。 また、病院再整備事業の中で、地震や水害等を想定した施設・設備の整備を図る。	ア 災害発生時の備えとしての医療・救護体制の整備 市との連携のもと、あらゆる災害を想定し、BCP(事業継続計画)の継続的な見直しを行うとともに、訓練や研修を充実させるなど医療・救護体制の整備を図る。														
イ 地域災害拠点病院としての役割 地域の防災体制の中で地域災害拠点病院としての役割を担うべく、必要な体制整備を図る。 また、長野県DMAT指定病院として必要な体制整備を図り、大規模災害時に県からの要請があれば、DMATの派遣等、被災地域への支援を行う。	イ 地域災害拠点病院としての役割 地域の防災体制の中で地域災害拠点病院としての役割を担うべく、必要な体制整備を図る。 また、長野県DMAT指定病院として必要な体制整備を図り、大規模災害時には県からの要請により、DMATの派遣等、被災地域への支援を行う。														
【目標指標】	【目標指標】														
<table><tr><th>指標</th><th>2022年度実績</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>日本DMAT資格保有者延べ人数(人)</td><td>13</td><td>16</td></tr></table>	指標	2022年度実績	2025年度目標	日本DMAT資格保有者延べ人数(人)	13	16	<table><tr><th>指標</th><th>2023年度実績</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>日本DMAT資格保有者延べ人数(人)</td><td>13</td><td>16</td></tr></table>	指標	2023年度実績	2025年度目標	日本DMAT資格保有者延べ人数(人)	13	16		
指標	2022年度実績	2025年度目標													
日本DMAT資格保有者延べ人数(人)	13	16													
指標	2023年度実績	2025年度目標													
日本DMAT資格保有者延べ人数(人)	13	16													

第3期中期計画（公立病院経営強化プラン）	2025年度（令和7年度）年度計画												
(10) 新興感染症等への対応	(10) 新興感染症等への対応												
新型コロナウイルス感染症に対しては、コロナ専用病棟（最大15床）を設置し、陽性患者の入院受入れを行うほか、「外来対応医療機関」として24時間365日、発熱患者等の診療・検査に対応する。 また、将来の新興感染症及び再興感染症の発生・拡大に備え、ハード・ソフト両面において感染症対策の強化を図るとともに、感染発生時には長野県等の関係機関・関係団体等との連携・協力のもと、一般医療との両立を図りながら、迅速かつ適切に必要な医療を提供する。	新型コロナウイルス感染症に対しては、陽性患者の入院受入れを行うほか、「外来対応医療機関」として24時間365日、発熱患者等の診療・検査に対応する。 また、将来の新興感染症及び再興感染症の発生・拡大に備え、ハード・ソフト両面において感染症対策の強化を図る。感染発生時には、 <u>長野県との医療措置協定に基づき</u> 、長野県等の関係機関・関係団体等との連携・協力のもと、一般医療との両立を図りながら、迅速かつ適切に必要な医療を提供する。												
2 患者サービスの向上	2 患者サービスの向上												
(1) 患者中心の医療	(1) 患者中心の医療												
ア 患者の視点に立った「説明と同意」の徹底 長野市民病院が掲げる「患者さんの権利」に則り、医療上の情報提供及び十分な説明を受ける権利、並びに患者の自己決定権を尊重し、患者や家族に対する「説明と同意」の徹底を図る。	ア 患者の視点に立った「説明と同意」の徹底 長野市民病院が掲げる「患者さんの権利」に則り、医療上の情報提供及び十分な説明を受ける権利、並びに患者の自己決定権を尊重し、患者や家族に対する「説明と同意」の徹底を図る。												
イ クリニカルパスの活用による医療の標準化及びチーム医療の質向上 クリニカルパスの適用拡大と評価・改善により、医療の標準化とチーム医療の質向上を図り、患者に分かりやすく安全で質の高い医療の提供に努める。	イ クリニカルパスの活用による医療の標準化及びチーム医療の質向上 クリニカルパスの適用拡大と評価・改善により、医療の標準化とチーム医療の質向上を図り、患者に分かりやすく安全で質の高い医療の提供に努める。												
【目標指標】	【目標指標】												
<table><tr><td>指標</td><td>2022年度実績</td><td>2025年度目標</td></tr><tr><td>クリニカルパス適用率（％）</td><td>50.0</td><td>50.0</td></tr></table>	指標	2022年度実績	2025年度目標	クリニカルパス適用率（％）	50.0	50.0	<table><tr><td>指標</td><td>2023年度実績</td><td>2025年度目標</td></tr><tr><td>クリニカルパス適用率（％）</td><td>51.2</td><td>50.0</td></tr></table>	指標	2023年度実績	2025年度目標	クリニカルパス適用率（％）	51.2	50.0
指標	2022年度実績	2025年度目標											
クリニカルパス適用率（％）	50.0	50.0											
指標	2023年度実績	2025年度目標											
クリニカルパス適用率（％）	51.2	50.0											
(2) 快適性及び利便性の向上	(2) 快適性及び利便性の向上												
ア 患者満足度の向上 患者満足度調査の結果に基づき、データの経年比較や他施設との比較により課題を把握し、継続的な改善に取り組む。 また、院内に設置した投書箱などへ寄せられる苦情・要望等を真摯に受け止め、病院運営の改善を図る。さらに、病院再整備事業を通してアメニティの向上を図り、患者や来院者に対し、より快適な環境を提供する。	ア 患者満足度の向上 患者満足度調査の結果に基づき、データの経年比較や他施設との比較により課題を把握し、 <u>患者満足度向上プロジェクトチームを中心に</u> 継続的な改善に取り組む。 また、院内に設置した投書箱などへ寄せられる苦情・要望等を真摯に受け止め、病院運営の改善を図る。												
イ 接遇の向上 挨拶の励行を通して、来院者と職員、あるいは職員同士で心が通う明るい雰囲気づくりを推進する。 また、関連するカンファレンスでの検証や接遇ラウンド（巡回）、接遇に関する研修等を実施し、接遇レベルの向上に取り組む。	イ 接遇の向上 挨拶の励行を通して、来院者と職員、あるいは職員同士で心が通う明るい雰囲気づくりを推進する。 また、関連するカンファレンスでの検証や <u>接遇アンケート</u> 、接遇に関する研修等を実施し、接遇レベルの向上に取り組む。												
ウ プライバシー確保や利便性に配慮した院内環境の整備 外来待合や会計窓口等における患者のプライバシー確保を図るとともに、医療費支払方法の多様化をはじめとする利便性への配慮を行うなど、院内環境の整備に取り組む。	ウ プライバシー確保や利便性に配慮した院内環境の整備 外来待合や会計窓口等における患者のプライバシー確保を図るとともに、利便性への配慮を行うなど、院内環境の整備に取り組む。												
エ 外来診療の待ち時間、検査・手術待ちの改善等 外来診療の運用見直しを進める中で、診察待ち時間や検査・手術待ちに関する課題の把握と改善に取り組み、患者の利便性向上に努める。	エ 外来診療の待ち時間、検査・手術待ちの改善等 外来診療の運用見直しを進める中で、診察待ち時間や検査・手術待ちに関する課題の把握と改善に取り組み、患者の利便性向上に努める。 <u>また、デジタルサイネージによる情報提供やフリーWi-Fiの提供により、待ち時間の快適性の向上を図る。</u>												

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)			2025年度(令和7年度)年度計画		
【目標指標】			【目標指標】		
指標	2022年度実績	2025年度目標	指標	2023年度実績	2025年度目標
入院患者総合満足度(%)	88.5	90.0	入院患者総合満足度(%)	87.3	90.0
外来患者総合満足度(%)	78.6	80.0	外来患者総合満足度(%)	78.8	80.0
(3) ボランティアの受入れ			(3) ボランティアの受入れ		
病院ボランティア事務担当者を配置し、ボランティア会員との意思疎通を図る中で、会員の意向も踏まえながら、広報を含め、院内で円滑に活動できるよう積極的な支援を行い、患者サービスの向上に努める。			病院ボランティア事務担当者を配置し、ボランティア会員との意思疎通を図る中で、会員の意向も踏まえながら、広報を含め、院内で円滑に活動できるよう積極的な支援を行い、患者サービスの向上に努める。		
(4) 情報提供の推進			(4) 情報提供の推進		
広報誌、ホームページ等の広報媒体を有効活用するとともに、開催や実施の方法を工夫しながら市民健康講座等の市民向け講演会や出前講座を行うことにより、医療並びに糖尿病予防、フレイル予防など健康に関する情報発信や普及啓発に努め、地域住民の健康の保持・増進に寄与する。			ホームページや広報誌等の広報媒体を有効活用するとともに、開催や実施の方法を工夫しながら病院祭「ふれあいデー」や市民健康講座等の市民向け講演会や出前講座を行うことにより、医療並びに糖尿病予防、フレイル予防など健康に関する情報発信や普及啓発に努め、地域住民の健康の保持・増進に寄与する。		
【関連項目】			【関連項目】		
項目	2022年度実績		項目	2023年度実績	
市民向け講座開催数(回)	1		市民向け講座開催数(回)	3	
(注1)YouTubeを活用した開催					
3 医療に関する調査及び研究			3 医療に関する調査及び研究		
医療技術の発展に貢献するため、治験センターの運営等を通して新薬や新しい治療法に関する治験、市販後調査を推進するほか、大学などと連携した医師主導型の臨床研究等への参加を推進する。 また、長野市民病院医学雑誌の発刊や院内学術発表会の開催等により職員の研究意欲を引き出し、高度専門医療を担う病院として、医療水準の更なる向上を図る。			医療技術の発展に貢献するため、治験センターの運営等を通して新薬や新しい治療法に関する治験、市販後調査、大学などと連携した医師主導型の臨床研究等への参加を推進する。 また、長野市民病院医学雑誌の発刊や院内学術発表会の開催等により職員の研究意欲を引き出し、高度専門医療を担う病院として、医療水準の更なる向上を図る。		
【関連項目】			【関連項目】		
項目	2022年度実績		項目	2023年度実績	
治験件数(件)	5		治験件数(件)	19	
臨床研究件数(件)	8		臨床研究件数(件)	9	
(注1)治験件数は、新規および継続中の合計件数。 (注2)臨床研究件数は、新規の件数。			(注1)治験件数は、新規および継続中の合計件数。 (注2)臨床研究件数は、新規の件数。		
4 地域医療構想を踏まえた役割・機能			4 地域医療構想を踏まえた役割・機能		
地域医療構想を踏まえ、2023年4月に病院再整備事業の中で地域包括ケア病棟を56床に増床して病床機能を回復期へ転換しており、中期計画期間の最終年度(令和7年度)における当院の病床機能ごとの病床数は以下の表の通りである。 なお、精神科領域の入院医療については、地域の医療機関と機能分担を図り、連携により対応する。			地域医療構想を踏まえ、2023年4月に病院再整備事業の中で地域包括ケア病棟を56床に増床して病床機能を回復期へ転換しており、2025年度(令和7年度)における当院の病床機能ごとの病床数は以下の表の通りである。 なお、精神科領域の入院医療については、地域の医療機関と機能分担を図り、連携により対応する。		
【2025年度における病床機能ごとの病床数】			【2025年度における病床機能ごとの病床数】		
病床機能	病床数		病床機能	病床数	
高度急性期(床)	201		高度急性期(床)	201	
急性期(床)	143		急性期(床)	143	
回復期(床)	56		回復期(床)	56	
合計(床)	400		合計(床)	400	

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)	2025年度(令和7年度)年度計画																								
5 医療提供体制の充実	5 医療提供体制の充実																								
(1) 地域包括ケアシステム推進体制の充実	(1) 地域包括ケアシステム推進体制の充実																								
ア 地域医療支援病院としての地域完結型医療の推進 高度急性期・急性期機能を有する地域医療支援病院として、かかりつけ医や地域の医療機関との機能分担と連携をなお一層強化し、紹介・逆紹介を円滑に進めながら、地域完結型医療を推進する。	ア 地域医療支援病院としての地域完結型医療の推進 高度急性期・急性期機能を有する地域医療支援病院として、かかりつけ医や地域の医療機関との機能分担と連携をなお一層強化し、紹介・逆紹介を円滑に進めながら、地域完結型医療を推進する。																								
イ 地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅医療の推進 地域の医療機関や介護サービス事業所と緊密に連携しながら、地域包括ケア病棟を活用し、在宅復帰支援や在宅からの緊急入院、レスパイト入院受入れに積極的に対応するほか、24時間訪問看護体制の維持・充実と併せて訪問リハビリテーションを提供し、変化する地域の在宅医療の需要に適切に対応する。 また、「長野市在宅医療・介護連携支援センター事業」の運営を行う中で、地域の在宅医療・介護関係者に対する情報提供や市民への啓発を推進する。	イ 地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅医療の推進 地域の医療機関や介護サービス事業所と緊密に連携しながら、地域包括ケア病棟を活用し、在宅復帰支援や施設・在宅からの緊急入院、レスパイト入院受入れに積極的に対応するほか、24時間訪問看護体制の維持・充実と併せて訪問リハビリテーションを提供し、変化する地域の在宅医療の需要に適切に対応する。 また、「長野市在宅医療・介護連携支援センター事業」の運営や「医療と介護の連携推進セミナー」等の研修会を開催するなど、地域の在宅医療・介護関係者に対する情報提供や市民への啓発を推進する。																								
【目標指標】	【目標指標】																								
<table><tr><th>指標</th><th>2022年度実績</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>紹介件数(件)</td><td>15,013</td><td>15,800</td></tr><tr><td>逆紹介件数(件)</td><td>11,803</td><td>12,000</td></tr><tr><td>訪問看護訪問件数(件)</td><td>7,123</td><td>7,150</td></tr></table>	指標	2022年度実績	2025年度目標	紹介件数(件)	15,013	15,800	逆紹介件数(件)	11,803	12,000	訪問看護訪問件数(件)	7,123	7,150	<table><tr><th>指標</th><th>2023年度実績</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>紹介件数(件)</td><td>14,985</td><td>15,800</td></tr><tr><td>逆紹介件数(件)</td><td>11,638</td><td>12,000</td></tr><tr><td>訪問看護訪問件数(件)</td><td>6,589</td><td>7,150</td></tr></table>	指標	2023年度実績	2025年度目標	紹介件数(件)	14,985	15,800	逆紹介件数(件)	11,638	12,000	訪問看護訪問件数(件)	6,589	7,150
指標	2022年度実績	2025年度目標																							
紹介件数(件)	15,013	15,800																							
逆紹介件数(件)	11,803	12,000																							
訪問看護訪問件数(件)	7,123	7,150																							
指標	2023年度実績	2025年度目標																							
紹介件数(件)	14,985	15,800																							
逆紹介件数(件)	11,638	12,000																							
訪問看護訪問件数(件)	6,589	7,150																							
【関連項目】	【関連項目】																								
<table><tr><th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr><tr><td>紹介率(%)</td><td>73.7</td></tr><tr><td>逆紹介率(%)</td><td>83.3</td></tr></table>	項目	2022年度実績	紹介率(%)	73.7	逆紹介率(%)	83.3	<table><tr><th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr><tr><td>紹介率(%)</td><td>78.6</td></tr><tr><td>逆紹介率(%)</td><td>88.6</td></tr></table>	項目	2023年度実績	紹介率(%)	78.6	逆紹介率(%)	88.6												
項目	2022年度実績																								
紹介率(%)	73.7																								
逆紹介率(%)	83.3																								
項目	2023年度実績																								
紹介率(%)	78.6																								
逆紹介率(%)	88.6																								
(2) 他の中核病院等との連携強化	(2) 他の中核病院等との連携強化																								
長野県地域医療構想を踏まえ、長野医療圏内の他の中核病院との機能分担に努め、適切な競合と協調を図るとともに、遠隔画像参照の活用を含めた救急医療に係る病院間連携を推進し、引き続き長野医療圏における医療水準の向上に寄与する。	長野県地域医療構想を踏まえ、長野医療圏内の他の中核病院との機能分担に努め、適切な競合と協調を図るとともに、救急医療に係る病院間連携を推進し、引き続き長野医療圏における医療水準の向上に寄与する。																								
(3) 近隣病院等への診療支援	(3) 近隣病院等への診療支援																								
長野県が指定する地域医療人材拠点病院として、近隣の医師が不足する病院及びへき地医療を担う国保診療所等への診療支援として、引き続き医師派遣を行う。	長野県が指定する地域医療人材拠点病院としての派遣を含め、近隣の医師が不足する病院及びへき地医療を担う国保診療所等への診療支援として、引き続き医師派遣を行う。																								
【関連項目】	【関連項目】																								
<table><tr><th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr><tr><td>医師派遣延べ件数(件)</td><td>204</td></tr></table> (注)長野県が要綱で定める医師不足が深刻な病院又は診療所への医師派遣件数。	項目	2022年度実績	医師派遣延べ件数(件)	204	<table><tr><th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr><tr><td>医師派遣延べ件数(件)</td><td>265</td></tr></table> (注)医師が不足する病院又は診療所等への医師派遣件数。	項目	2023年度実績	医師派遣延べ件数(件)	265																
項目	2022年度実績																								
医師派遣延べ件数(件)	204																								
項目	2023年度実績																								
医師派遣延べ件数(件)	265																								
(4) 医療機器の計画的な更新・整備	(4) 医療機器の計画的な更新・整備																								
地域の医療需要や医療技術の進展、費用対効果、患者ニーズ等を踏まえ、地域における機能分担と連携を図る中で、長野市民病院が提供してきた高度で安全・良質な医療を将来にわたって持続的に提供できるよう、高額医療機器更新計画(5ヶ年)を含め、効率的で効果的な予算執行により医療機器の更新・整備を進める。	地域の医療需要や医療技術の進展、費用対効果、患者ニーズ等を踏まえ、地域における機能分担と連携を図る中で、長野市民病院が提供してきた高度で安全・良質な医療を将来にわたって持続的に提供できるよう、高額医療機器更新計画(5ヶ年)を含め、効率的で効果的な予算執行により医療機器の更新・整備を進める。																								

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)	2025年度(令和7年度)年度計画																																
(5) デジタル技術の活用 院外からの画像参照や、システム連携による入力業務の軽減、レセプトの自動チェック等により、医療の質の向上、医療従事者の負担軽減並びに請求業務の質向上を図る。 また、オンラインがん相談に対応する中で将来的なオンライン診療への活用を検討するとともに、マイナンバーカードによるオンライン資格確認の利用促進に努める。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr> <tr> <td>院外画像参照システム利用件数(件)</td><td>115</td></tr> </table>	項目	2022年度実績	院外画像参照システム利用件数(件)	115	(5) デジタル技術の活用 院外からの画像参照や、システム連携による入力業務の軽減、レセプトの自動チェック等により、医療の質の向上、医療従事者の負担軽減並びに請求業務の質向上を図るとともに、<u>生成AIやRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)、チャットボットなどのデジタル技術を積極的に活用し、業務の効率化を図る。</u> また、オンラインがん相談に対応する中で将来的なオンライン診療への活用を検討するとともに、マイナンバーカードによるオンライン資格確認の利用促進や活用にに努める。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr> <tr> <td>院外画像参照システム利用件数(件)</td><td>152</td></tr> </table>	項目	2023年度実績	院外画像参照システム利用件数(件)	152																								
項目	2022年度実績																																
院外画像参照システム利用件数(件)	115																																
項目	2023年度実績																																
院外画像参照システム利用件数(件)	152																																
(6) 病院運営に関する地域の意見の反映 地域医療支援病院運営委員会など、地域住民の代表者を交えての定期的な意見交換を通して、病院と地域との積極的な連携強化を図る。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr> <tr> <td>地域医療支援病院運営委員会開催数(回)</td><td>4</td></tr> </table>	項目	2022年度実績	地域医療支援病院運営委員会開催数(回)	4	(6) 病院運営に関する地域の意見の反映 地域医療支援病院運営委員会など、地域住民の代表者を交えての定期的な意見交換を通して、病院と地域との積極的な連携強化を図る。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr> <tr> <td>地域医療支援病院運営委員会開催数(回)</td><td>4</td></tr> </table>	項目	2023年度実績	地域医療支援病院運営委員会開催数(回)	4																								
項目	2022年度実績																																
地域医療支援病院運営委員会開催数(回)	4																																
項目	2023年度実績																																
地域医療支援病院運営委員会開催数(回)	4																																
(7) 医療職の人材確保及び育成 ア 医師、看護師、その他必要な人材の確保 診療機能の維持・強化のため、医師をはじめ、看護師、薬剤師、その他医療職の適切な確保に努める。 イ 専門性を持った質の高い人材の育成 専門医や技術認定医等の取得・更新を支援するとともに、チーム医療を支える高い専門性を持った看護師、薬剤師等、医療スタッフの育成に努める。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr> <tr> <td>医師数(人)</td><td>121</td></tr> <tr> <td>看護師数(人)</td><td>528</td></tr> <tr> <td>薬剤師数(人)</td><td>24</td></tr> <tr> <td>診療技術部職員数(人)</td><td>116</td></tr> <tr> <td>100床当たり職員数(人)</td><td>2.4</td></tr> <tr> <td>専門医延べ人数(人)</td><td>146</td></tr> <tr> <td>専門看護師、認定看護師延べ人数(人)</td><td>27</td></tr> </table> (注1) 2023年3月31日現在の人数を記載 (注2) 医師数には臨床研修医を含む。 (注3) 看護師数、薬剤師数、診療技術部職員数、100床当たり職員数には非正規職員を含む。	項目	2022年度実績	医師数(人)	121	看護師数(人)	528	薬剤師数(人)	24	診療技術部職員数(人)	116	100床当たり職員数(人)	2.4	専門医延べ人数(人)	146	専門看護師、認定看護師延べ人数(人)	27	(7) 医療職の人材確保及び育成 ア 医師、看護師、その他必要な人材の確保 診療機能の維持・強化のため、医師をはじめ、看護師、薬剤師、その他医療職の適切な確保に努めるとともに、<u>職員の処遇改善を図る。</u> イ 専門性を持った質の高い人材の育成 専門医や技術認定医等の取得・更新を支援するとともに、チーム医療を支える高い専門性を持った看護師、薬剤師等、医療スタッフの育成に努める。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr> <tr> <td>医師数(人)</td><td>121</td></tr> <tr> <td>看護師数(人)</td><td>528</td></tr> <tr> <td>薬剤師数(人)</td><td>23</td></tr> <tr> <td>診療技術部職員数(人)</td><td>113</td></tr> <tr> <td>100床当たり職員数(人)</td><td>2.4</td></tr> <tr> <td>専門医延べ人数(人)</td><td>155</td></tr> <tr> <td>専門看護師、認定看護師延べ人数(人)</td><td>28</td></tr> </table> (注1) 2024年3月31日現在の人数を記載。 (注2) 医師数には<u>歯科医師</u>、臨床研修医を含む。 (注3) 看護師数、薬剤師数、診療技術部職員数、100床当たり職員数には非正規職員を含む。	項目	2023年度実績	医師数(人)	121	看護師数(人)	528	薬剤師数(人)	23	診療技術部職員数(人)	113	100床当たり職員数(人)	2.4	専門医延べ人数(人)	155	専門看護師、認定看護師延べ人数(人)	28
項目	2022年度実績																																
医師数(人)	121																																
看護師数(人)	528																																
薬剤師数(人)	24																																
診療技術部職員数(人)	116																																
100床当たり職員数(人)	2.4																																
専門医延べ人数(人)	146																																
専門看護師、認定看護師延べ人数(人)	27																																
項目	2023年度実績																																
医師数(人)	121																																
看護師数(人)	528																																
薬剤師数(人)	23																																
診療技術部職員数(人)	113																																
100床当たり職員数(人)	2.4																																
専門医延べ人数(人)	155																																
専門看護師、認定看護師延べ人数(人)	28																																

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)	2025年度(令和7年度)年度計画																								
(8) 教育研修	(8) 教育研修																								
ア 初期・後期臨床研修機能の充実 総合的かつ全人的な医療を提供できる医師の育成を基本方針とし、医師不足地域での地域医療研修を含む臨床研修プログラムの継続的な改善などに取り組み、研修医から選ばれる臨床研修病院を目指す。 イ 地域医療従事者の教育並びに学生の研修・実習受入れ 地域がん診療連携拠点病院及び地域医療支援病院として、地域医療従事者を対象とした症例検討会やがん診療に関する研修会等を開催方法を工夫しながら計画的に開催するほか、医学生、看護学生及び薬学生等の研修・実習についても積極的な受入れを行う。 ウ 職員のキャリアアップ支援 資格取得や院内外の学会・研修会等への参加を奨励し、必要な経費の負担や「長野市民病院ふれ愛基金」を財源とした助成を行うなど、職員のキャリアアップを積極的に支援する。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr> <tr> <td>初期研修医応募者数(人)</td><td>19</td></tr> <tr> <td>地域医療従事者向け研修等開催数(回)</td><td>14</td></tr> </table>	項目	2022年度実績	初期研修医応募者数(人)	19	地域医療従事者向け研修等開催数(回)	14	ア 初期・後期臨床研修機能の充実 総合的かつ全人的な医療を提供できる医師の育成を基本方針とし、臨床研修プログラムの継続的な改善などに取り組み、研修医から選ばれる臨床研修病院を目指す。 イ 地域医療従事者の教育並びに学生の研修・実習受入れ 地域がん診療連携拠点病院及び地域医療支援病院として、地域医療従事者を対象とした症例検討会やがん診療に関する研修会等を開催方法を工夫しながら計画的に開催するほか、医学生、看護学生及び薬学生等の研修・実習についても積極的な受入れを行う。 ウ 職員のキャリアアップ支援 資格取得や院内外の学会・研修会等への参加を奨励し、必要な経費の負担や「長野市民病院ふれ愛基金」を財源とした助成を行うなど、職員のキャリアアップを積極的に支援する。 <u>また、医師をはじめとする職員の国内外への留学を支援する。</u> 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr> <tr> <td>初期研修医応募者数(人)</td><td>20</td></tr> <tr> <td>地域医療従事者向け研修等開催数(回)</td><td>11</td></tr> </table>	項目	2023年度実績	初期研修医応募者数(人)	20	地域医療従事者向け研修等開催数(回)	11												
項目	2022年度実績																								
初期研修医応募者数(人)	19																								
地域医療従事者向け研修等開催数(回)	14																								
項目	2023年度実績																								
初期研修医応募者数(人)	20																								
地域医療従事者向け研修等開催数(回)	11																								
(9) 医療安全対策	(9) 医療安全対策																								
ア 医療事故防止対策 専従のリスクマネージャーを中心に、インシデントやアクシデントの情報収集・分析及び迅速なフィードバックを行い、医療事故の発生・再発防止に取り組む。 イ 院内感染対策 ICT(感染対策チーム)のラウンド(巡回)等により、院内感染事例の把握と対策の指導を行うほか、抗菌薬の適正使用を推進し、院内感染の発生・拡大防止に取り組む。 また、新興・再興感染症等が発生した場合には、感染防止対策を徹底しながら、状況に応じて適切に対応する。 ウ 職員全体研修の実施 職員全員に参加を義務づける研修を通年にわたって開催し、医療安全及び感染対策に関し確実に徹底を図る。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr> <tr> <td>インシデント・アクシデントレポート報告件数(件)</td><td>1,972</td></tr> <tr> <td>(うちインシデントの割合)(%)</td><td>(99.9)</td></tr> <tr> <td>(うちアクシデントの割合)(%)</td><td>(0.1)</td></tr> <tr> <td>医療安全研修受講率(%)</td><td>95.1</td></tr> <tr> <td>感染対策研修受講率(%)</td><td>93.9</td></tr> </table>	項目	2022年度実績	インシデント・アクシデントレポート報告件数(件)	1,972	(うちインシデントの割合)(%)	(99.9)	(うちアクシデントの割合)(%)	(0.1)	医療安全研修受講率(%)	95.1	感染対策研修受講率(%)	93.9	ア 医療事故防止対策 専従のリスクマネージャーを中心に、インシデントやアクシデントの情報収集・分析及び迅速なフィードバックを行い、医療事故の発生・再発防止に取り組む。 イ 院内感染対策 ICT(感染対策チーム)のラウンド(巡回)等により、院内感染事例の把握と対策の指導を行うほか、抗菌薬の適正使用を推進し、院内感染の発生・拡大防止に取り組む。 また、新興・再興感染症等が発生した場合には、感染防止対策を徹底しながら、状況に応じて適切に対応する。 ウ 職員全体研修の実施 職員全員に参加を義務づける研修を通年にわたって開催し、医療安全及び感染対策に関し確実に徹底を図る。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr> <tr> <td>インシデント・アクシデントレポート報告件数(件)</td><td>2,110</td></tr> <tr> <td>(うちインシデントの割合)(%)</td><td>(99.9)</td></tr> <tr> <td>(うちアクシデントの割合)(%)</td><td>(0.1)</td></tr> <tr> <td>医療安全研修受講率(%)</td><td>95.6</td></tr> <tr> <td>感染対策研修受講率(%)</td><td>97.2</td></tr> </table>	項目	2023年度実績	インシデント・アクシデントレポート報告件数(件)	2,110	(うちインシデントの割合)(%)	(99.9)	(うちアクシデントの割合)(%)	(0.1)	医療安全研修受講率(%)	95.6	感染対策研修受講率(%)	97.2
項目	2022年度実績																								
インシデント・アクシデントレポート報告件数(件)	1,972																								
(うちインシデントの割合)(%)	(99.9)																								
(うちアクシデントの割合)(%)	(0.1)																								
医療安全研修受講率(%)	95.1																								
感染対策研修受講率(%)	93.9																								
項目	2023年度実績																								
インシデント・アクシデントレポート報告件数(件)	2,110																								
(うちインシデントの割合)(%)	(99.9)																								
(うちアクシデントの割合)(%)	(0.1)																								
医療安全研修受講率(%)	95.6																								
感染対策研修受講率(%)	97.2																								

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)	2025年度(令和7年度)年度計画																
(10) コンプライアンス(法令遵守)の徹底	(10) コンプライアンス(法令遵守)の徹底																
ア 関係法令の遵守による適正な業務運営 医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、「長野市民病院の理念」並びに医療人としての職業倫理に従い、適正な業務運営を行う。 イ 個人情報保護、情報公開等への適切な対応 個人情報保護及び情報公開については、関係する法令、ガイドライン、並びに市の関係条例等に基づき、適正に対処するほか、患者・家族から情報開示の求めがあった場合には、規定に則り適切に対応する。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr> <tr> <td>コンプライアンス研修開催数(回)</td><td>1</td></tr> <tr> <td>カルテ不正閲覧監査実施数(回)</td><td>1</td></tr> </table>	項目	2022年度実績	コンプライアンス研修開催数(回)	1	カルテ不正閲覧監査実施数(回)	1	ア 関係法令の遵守による適正な業務運営 医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、「長野市民病院の理念」並びに医療人としての職業倫理に従い、適正な業務運営を行う。 イ 個人情報保護、情報公開等への適切な対応 個人情報保護及び情報公開については、関係する法令、ガイドライン、並びに市の関係条例等に基づき、適正に対処するほか、患者・家族から情報開示の求めがあった場合には、規定に則り適切に対応する。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr> <tr> <td>コンプライアンス研修開催数(回)</td><td>2</td></tr> <tr> <td>カルテ不正閲覧監査実施数(回)</td><td>1</td></tr> </table>	項目	2023年度実績	コンプライアンス研修開催数(回)	2	カルテ不正閲覧監査実施数(回)	1				
項目	2022年度実績																
コンプライアンス研修開催数(回)	1																
カルテ不正閲覧監査実施数(回)	1																
項目	2023年度実績																
コンプライアンス研修開催数(回)	2																
カルテ不正閲覧監査実施数(回)	1																
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置																
1 経営管理機能の充実	1 経営管理機能の充実																
(1) 管理運営体制の強化	(1) 管理運営体制の強化																
ア 中期計画及び年度計画に基づく効果的かつ効率的な業務運営の推進 中期目標を達成するため、迅速な意思決定と機動的な経営判断により効果的かつ効率的な業務運営を推進するとともに、法人組織として内部統制の体制充実を図る。 また、中期計画・年度計画の確実な遂行に向けて、進捗管理を適切に行いながら一丸となって取り組む。 イ 経営情報の収集・分析・共有 医療制度改革や診療報酬改定、並びに近隣病院の動向等を的確に把握・分析し、自律的かつ戦略的な病院経営を推進する。 また、医療情報システム等のデータを利活用して稼働状況を見える化し、併せて院内ネットワーク画面上に経営指標として随時掲示・更新を行うことにより全職員で情報を共有し、経営参画意識の醸成を図る。 ウ 企画力・実行力の強化 医療経営や医療事務に係る専門知識、業務経験を有する人材の確保・育成に努め、企画力・実行力の強化を図る。 エ 会計情報の信頼性向上 監査法人等と任意で契約し、会計に関する監査・指導を受けることで、会計情報の信頼性向上を図る。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr> <tr> <td>経営報告会開催数(回)</td><td>4</td></tr> <tr> <td>診療報酬等に関する研修会開催数(回)</td><td>2</td></tr> <tr> <td>経営に関する院外研修会への延べ参加人数(人)</td><td>20</td></tr> </table>	項目	2022年度実績	経営報告会開催数(回)	4	診療報酬等に関する研修会開催数(回)	2	経営に関する院外研修会への延べ参加人数(人)	20	ア 中期計画及び年度計画に基づく効果的かつ効率的な業務運営の推進 中期目標を達成するため、迅速な意思決定と機動的な経営判断により効果的かつ効率的な業務運営を推進するとともに、法人組織として内部統制の体制充実を図る。 また、中期計画・年度計画の確実な遂行に向けて、進捗管理を適切に行いながら一丸となって取り組む。 イ 経営情報の収集・分析・共有 医療制度改革や診療報酬改定、並びに近隣病院の動向等を的確に把握・分析し、自律的かつ戦略的な病院経営を推進する。 また、医療情報システム等のデータを利活用して稼働状況を見える化し、併せて院内ネットワーク画面上に経営指標として随時掲示・更新を行うことにより全職員で情報を共有し、経営参画意識の醸成を図る。 ウ 企画力・実行力の強化 医療経営や医療事務に係る専門知識、業務経験を有する人材の確保・育成に努め、企画力・実行力の強化を図る。 エ 会計情報の信頼性向上 監査法人等と任意で契約し、会計に関する監査・指導を受けることで、会計情報の信頼性向上を図る。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr> <tr> <td>経営報告会開催数(回)</td><td>4</td></tr> <tr> <td>診療報酬等に関する研修会開催数(回)</td><td>2</td></tr> <tr> <td>経営に関する院外研修会への延べ参加人数(人)</td><td>20</td></tr> </table>	項目	2023年度実績	経営報告会開催数(回)	4	診療報酬等に関する研修会開催数(回)	2	経営に関する院外研修会への延べ参加人数(人)	20
項目	2022年度実績																
経営報告会開催数(回)	4																
診療報酬等に関する研修会開催数(回)	2																
経営に関する院外研修会への延べ参加人数(人)	20																
項目	2023年度実績																
経営報告会開催数(回)	4																
診療報酬等に関する研修会開催数(回)	2																
経営に関する院外研修会への延べ参加人数(人)	20																

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)	2025年度(令和7年度)年度計画												
(2) 業務改善の推進	(2) 業務改善の推進												
ア 業務改善への職員の参画 部門別の目標管理を行う中で評価・改善を行い、部署ごとに業務改善を推進する。 また、職員が組織横断的な委員会・チーム活動に従事する中で、それぞれの職種の立場から業務運営の改善に取り組む。	ア 業務改善への職員の参画 部門別の目標管理を行う中で評価・改善を行い、部署ごとに業務改善を推進する <u>とともに</u> 、職員が組織横断的な委員会・チーム活動に従事する中で、それぞれの職種の立場から業務運営の改善に取り組む。 <u>また、業務改善委員会において、優れた業務改善事例を表彰し、業務改善の風土を醸成する。</u>												
イ 病院機能評価等の外部評価の活用 公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価、公益社団法人日本人間ドック学会による人間ドック健診施設機能評価などの第三者評価の更新審査の受審に向けて体制を整備することで、継続的な医療サービスの向上及び業務改善を図る。 また、一般社団法人日本病院会の「QIプロジェクト」をはじめとする外部機関の評価事業に継続参加し、自院データの経時的な分析や他施設とのベンチマークを行い、医療・看護の質向上に取り組む。	イ 病院機能評価等の外部評価の活用 公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 <u>の結果を踏まえて継続的な業務改善に取り組むほか</u> 、公益社団法人日本人間ドック学会による人間ドック健診施設機能評価などの第三者評価の更新審査の受審に向けて体制を整備することで、継続的な医療サービスの向上及び業務改善を図る。 また、一般社団法人日本病院会の「QIプロジェクト」をはじめとする外部機関の評価事業に継続参加し、 <u>医療の質向上委員会において</u> 自院データの経時的な分析や他施設とのベンチマークを行い、医療・看護の質向上に取り組む。												
【目標指標】													
<table><tr><th>指標</th><th>2022年度実績</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>病院機能評価のS及びA評価の比率(%)</td><td>(80.9)</td><td>85.0</td></tr></table> (注)2022年度実績は、前回受審(2018年度)実績。 (注2)次回受審は2023年度。	指標	2022年度実績	2025年度目標	病院機能評価のS及びA評価の比率(%)	(80.9)	85.0							
指標	2022年度実績	2025年度目標											
病院機能評価のS及びA評価の比率(%)	(80.9)	85.0											
2 働きやすくやりがいのある職場環境の整備	2 働きやすくやりがいのある職場環境の整備												
(1) 人事評価制度の再構築	(1) 人事評価制度の再構築												
適切な人事評価制度の導入を通して職員の目標達成意欲を高め、組織の活性化と管理職の育成に努める。 また、これと関連して、人事給与制度についても適宜見直しを検討する。	適切な人事評価制度の導入を通して職員の目標達成意欲を高め、組織の活性化と管理職の育成に努める。 また、これと関連して、人事給与制度についても適宜見直しを検討する。												
(2) 働き方改革の推進	(2) 働き方改革の推進												
国が推進する働き方改革の動向を踏まえ、タスク・シフティング(業務の移管)、タスク・シェアリング(業務の共同化)を検討し、医師を含む全職員の時間外労働時間の縮減と有給休暇取得促進を目指す。特に医師については、2024年度から開始される時間外労働規制に向け、救急患者対応体制や平日の始業・終業時刻の見直しなどにより、A水準(年間960時間上限)を指向する。 また、ICT(情報通信技術)等の導入活用等を検討し、業務の負担軽減に取り組む。	国が推進する働き方改革の動向を踏まえ、 <u>働き方改革ワーキンググループを中心に</u> 、タスク・シフティング(業務の移管)、タスク・シェアリング(業務の共同化)を検討し、医師を含む全職員の時間外労働時間の縮減と有給休暇取得促進を目指す。特に医師については、2024年度から開始され <u>た</u> 時間外労働規制に <u>対し</u> 、救急患者対応体制や平日の始業・終業時刻の見直しなどにより、A水準(年間960時間上限) <u>で対応する</u> 。 また、ICT(情報通信技術)等の導入活用等を検討し、業務の負担軽減に取り組む。												
【目標指標】	【目標指標】												
<table><tr><th>指標</th><th>2022年度実績</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>月平均時間外労働時間(時間)</td><td>20.2</td><td>19.5</td></tr></table> (注)医師を含む全正規職員一人あたりの時間。	指標	2022年度実績	2025年度目標	月平均時間外労働時間(時間)	20.2	19.5	<table><tr><th>指標</th><th>2023年度実績</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>月平均時間外労働時間(時間)</td><td>19.7</td><td>19.5</td></tr></table> (注)医師を含む全正規職員一人あたりの時間。	指標	2023年度実績	2025年度目標	月平均時間外労働時間(時間)	19.7	19.5
指標	2022年度実績	2025年度目標											
月平均時間外労働時間(時間)	20.2	19.5											
指標	2023年度実績	2025年度目標											
月平均時間外労働時間(時間)	19.7	19.5											
【関連項目】	【関連項目】												
<table><tr><th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr><tr><td>有給休暇平均取得日数(日)</td><td>12.1</td></tr></table> (注)全正規職員一人あたりの年間取得日数で、リフレッシュ休暇(付与日数3日)を含まない。	項目	2022年度実績	有給休暇平均取得日数(日)	12.1	<table><tr><th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr><tr><td>有給休暇平均取得日数(日)</td><td>12.2</td></tr></table> (注)全正規職員一人あたりの年間取得日数で、リフレッシュ休暇(付与日数3日)を含まない。	項目	2023年度実績	有給休暇平均取得日数(日)	12.2				
項目	2022年度実績												
有給休暇平均取得日数(日)	12.1												
項目	2023年度実績												
有給休暇平均取得日数(日)	12.2												

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)			2025年度(令和7年度)年度計画		
(3) 働きやすくやりがいのある職場環境づくり 職員のワークライフバランスに配慮し、業務運営の見直しや院内託児所の充実などを通して、職員が安心して働ける職場環境を整備する。 また、職員向けの相談窓口を設けてメンタルヘルスやハラスメントなどに迅速に対処し、恒常的に職員の意見を汲み上げて改善を図ることにより職員の就労意欲の維持向上に努める。 さらに、病院再整備事業の既存棟の改修を通して、狭隘化の解消、アメニティの充実等を行い、労働環境の改善を図る。			(3) 働きやすくやりがいのある職場環境づくり 職員のワークライフバランスに配慮し、業務運営の見直しや院内託児所の充実などを通して、職員が安心して働ける職場環境を整備する。 また、職員向けの相談窓口を設けてメンタルヘルスやハラスメントなどに迅速に対処し、恒常的に職員の意見を汲み上げて改善を図ることにより職員の就労意欲の維持向上に努める。 さらに、 精神科医師が職員のメンタルヘルスをサポートすることにより、職員の働きやすさのさらなる向上を図る。		
【関連項目】			【関連項目】		
項目		2022年度実績	項目		2023年度実績
看護師離職率(%)		6.6	看護師離職率(%)		9.2
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置			第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置		
1 効率的な経営の推進			1 効率的な経営の推進		
(1) 計画的な施設・設備整備を踏まえた経営の推進 収益確保と費用節減の徹底を図りながら効率的な経営を推進し、病院再整備事業及び高額医療機器等の更新整備による影響を除き、各事業年度の経常収支比率100%以上の達成に取り組む。			(1) 計画的な施設・設備整備を踏まえた経営の推進 経営改善プロジェクトチームの活動等により、 収益確保と費用節減の徹底を図りながら効率的な経営を推進し、病院再整備事業及び高額医療機器等の更新整備による影響を除き、各事業年度の経常収支比率100%以上の達成に取り組む。		
【目標指数】			【目標指数】		
指標	2022年度実績	2025年度目標	指標	2023年度実績	2025年度目標
経常収支比率(%)	106.5	98.6	経常収支比率(%)	103.0	98.6
病院再整備事業及び高額医療機器等の更新整備による影響を除く経常収支比率(%)	107.8	100.5	病院再整備事業及び高額医療機器等の更新整備による影響を除く経常収支比率(%)	105.3	100.5
修正医業収支比率(%)	96.5	93.2	修正医業収支比率(%)	94.7	93.2
新入院患者数(人)	10,340	11,100	新入院患者数(人)	10,424	11,100
(注1)修正医業収支比率は、修正医業収益／(医業費用＋一般管理費)×100とする。 (注2)修正医業収益は運営費負担金を除く。(以下の目標指標及び関連項目も同様とする。)			(注1)修正医業収支比率は、修正医業収益／(医業費用＋一般管理費)×100とする。 (注2)修正医業収益は運営費負担金を除く。(以下の目標指標及び関連項目も同様とする。)		
【関連項目】			【関連項目】		
項目		2022年度実績	項目		2023年度実績
病床稼働率(%)		92.3	病床稼働率(%)		93.7
(地域包括ケア病棟を除く率)		(91.6)	(地域包括ケア病棟を除く率)		(93.1)
平均在院日数(日)		12.0	平均在院日数(日)		12.2
(地域包括ケア病棟を除く日数)		(11.2)	(地域包括ケア病棟を除く日数)		(11.1)
延べ入院患者数(人)		134,805	延べ入院患者数(人)		137,146
1日当たり入院患者数(人)		341	1日当たり入院患者数(人)		346
1日当たり入院単価(円)		73,550	1日当たり入院単価(円)		73,874
医師1人当たり入院診療収入(千円)		81,942	医師1人当たり入院診療収入(千円)		83,732
看護師1人当たり入院診療収入(千円)		18,778	看護師1人当たり入院診療収入(千円)		19,189
延べ外来患者数(人)		250,824	延べ外来患者数(人)		236,020
1日当たり外来患者数(人)		1,032	1日当たり外来患者数(人)		971
1日当たり外来単価(円)		20,612	1日当たり外来単価(円)		22,213
医師1人当たり外来診療収入(千円)		42,727	医師1人当たり外来診療収入(千円)		43,328
看護師1人当たり外来診療収入(千円)		9,792	看護師1人当たり外来診療収入(千円)		9,929

第3期中期計画（公立病院経営強化プラン）	2025年度（令和7年度）年度計画																				
(2) 診療報酬改定等の制度改正への適切な対応	(2) 診療報酬改定等の制度改正への適切な対応																				
医療制度改革や診療報酬改定への適切な対応を図るとともに、DPC/PDPS（診断群分類別包括支払制度）の評価向上を目指すなど、収益の確保を図る。	医療制度改革や診療報酬改定への適切な対応を図るとともに、 DPC特定病院群としての医療機能を維持し 、DPC/PDPS（診断群分類別包括支払制度）の 更なる 評価向上を目指すなど、収益の確保を図る。																				
【関連項目】	【関連項目】																				
<table><tr><th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr><tr><td>DPC機能評価係数Ⅱの数値</td><td>0.103</td></tr></table>	項目	2022年度実績	DPC機能評価係数Ⅱの数値	0.103	<table><tr><th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr><tr><td>DPC機能評価係数Ⅱの数値</td><td>0.1006</td></tr></table>	項目	2023年度実績	DPC機能評価係数Ⅱの数値	0.1006												
項目	2022年度実績																				
DPC機能評価係数Ⅱの数値	0.103																				
項目	2023年度実績																				
DPC機能評価係数Ⅱの数値	0.1006																				
(3) 適正な人員配置	(3) 適正な人員配置																				
業務の質の維持、新規施設基準の取得や診療機能強化に見合った適正な人員配置により収益の確保に努める。	業務の質の維持、新規施設基準の取得や診療機能強化に見合った適正な人員配置により収益の確保に努める。																				
【目標指標】	【目標指標】																				
<table><tr><th>指標</th><th>2022年度実績</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>対修正医業収益給与費比率（％）</td><td>51.8</td><td>54.6</td></tr></table>	指標	2022年度実績	2025年度目標	対修正医業収益給与費比率（％）	51.8	54.6	<table><tr><th>指標</th><th>2023年度実績</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>対修正医業収益給与費比率（％）</td><td>51.9</td><td>54.6</td></tr></table>	指標	2023年度実績	2025年度目標	対修正医業収益給与費比率（％）	51.9	54.6								
指標	2022年度実績	2025年度目標																			
対修正医業収益給与費比率（％）	51.8	54.6																			
指標	2023年度実績	2025年度目標																			
対修正医業収益給与費比率（％）	51.9	54.6																			
(注)対修正医業収益給与比率は、（給与費(医業費用)＋給与費(一般管理費)）／修正医業収益×100とする。	(注)対修正医業収益給与 費 比率は、（給与費(医業費用)＋給与費(一般管理費)）／修正医業収益×100とする。																				
(4) 診療報酬請求漏れや返戻・査定減の防止	(4) 診療報酬請求漏れや返戻・査定減の防止																				
レセプトチェックシステム等の活用によるレセプトの点検強化をはじめ、部署横断的な情報共有等によりレセプトの精度向上を図り、請求漏れの防止や返戻・査定の低減に努める。	レセプトチェックシステム等の活用によるレセプトの点検強化をはじめ、部署横断的な情報共有等によりレセプトの精度向上を図り、請求漏れの防止や返戻・査定の低減に努める。																				
【目標指標】	【目標指標】																				
<table><tr><th>指標</th><th>2022年度実績</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>レセプト返戻率（％）</td><td>6.00</td><td>5.50</td></tr><tr><td>レセプト査定率（％）</td><td>0.40</td><td>0.35</td></tr></table>	指標	2022年度実績	2025年度目標	レセプト返戻率（％）	6.00	5.50	レセプト査定率（％）	0.40	0.35	<table><tr><th>指標</th><th>2023年度実績</th><th>2025年度目標</th></tr><tr><td>レセプト返戻率（％）</td><td>5.1</td><td>5.5</td></tr><tr><td>レセプト査定率（％）</td><td>0.35</td><td>0.35</td></tr></table>	指標	2023年度実績	2025年度目標	レセプト返戻率（％）	5.1	5.5	レセプト査定率（％）	0.35	0.35		
指標	2022年度実績	2025年度目標																			
レセプト返戻率（％）	6.00	5.50																			
レセプト査定率（％）	0.40	0.35																			
指標	2023年度実績	2025年度目標																			
レセプト返戻率（％）	5.1	5.5																			
レセプト査定率（％）	0.35	0.35																			
(5) 未収金の管理と回収	(5) 未収金の管理と回収																				
多様な支払い方法を提供するなど未収金の発生防止に努めるとともに、督促の徹底や債権回収の外部委託などにより未収金残高の低減に努める。	多様な支払い方法を提供するなど未収金の発生防止に努めるとともに、督促の徹底や債権回収の外部委託などにより未収金残高の低減に努める。																				
【関連項目】	【関連項目】																				
<table><tr><th>項目</th><th>2022年度実績</th></tr><tr><td>現年度収納率（％）</td><td>99.8</td></tr><tr><td>破産更生債権等新規発生件数(件)</td><td>179</td></tr></table>	項目	2022年度実績	現年度収納率（％）	99.8	破産更生債権等新規発生件数(件)	179	<table><tr><th>項目</th><th>2023年度実績</th></tr><tr><td>現年度収納率（％）</td><td>99.9</td></tr><tr><td>破産更生債権等新規発生件数(件)</td><td>140</td></tr></table>	項目	2023年度実績	現年度収納率（％）	99.9	破産更生債権等新規発生件数(件)	140								
項目	2022年度実績																				
現年度収納率（％）	99.8																				
破産更生債権等新規発生件数(件)	179																				
項目	2023年度実績																				
現年度収納率（％）	99.9																				
破産更生債権等新規発生件数(件)	140																				
(注)現年度徴収率は、現年度に発生した患者一部負担金の収納率。	(注)現年度徴収率は、現年度に発生した患者一部負担金の収納率。																				

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)					2025年度(令和7年度)年度計画						
(6) 業務の質と量に応じた費用の適正化 診療機能の維持・向上を図りながら、在庫の適正化や業務運営の改善等により材料費の抑制と経費等の節減に取り組み、業務の質と量に応じた費用の適正化を図る。					(6) 業務の質と量に応じた費用の適正化 診療機能の維持・向上を図りながら、在庫の適正化や業務運営の改善等により材料費の抑制と経費等の節減に取り組み、業務の質と量に応じた費用の適正化を図る。						
【目標指標】					【目標指標】						
指標		2022年度実績		2025年度目標		指標		2023年度実績		2025年度目標	
対修正医業収益診療材料費比率(%)		13.0		13.0		対修正医業収益診療材料費比率(%)		13.2		13.0	
対修正医業収益薬品費比率(%)		15.8		16.0		対修正医業収益薬品費比率(%)		16.7		16.0	
対修正医業収益委託費比率(%)		6.0		5.6		対修正医業収益委託費比率(%)		6.3		5.6	
対修正医業収益減価償却費比率(%)		5.7		7.1		対修正医業収益減価償却費比率(%)		5.7		7.1	
(注1)対修正医業収益診療材料費比率は、診療材料費(医業費用)／修正医業収益×100とする。 (注2)対修正医業収益薬品費比率は、薬品費(医業費用)／修正医業収益×100とする。 (注3)対修正医業収益委託費比率は、(委託費(医業費用)+委託費(一般管理費))／修正医業収益×100とする。 (注4)対修正医業収益減価償却費比率は、(減価償却費(医業費用)+減価償却費(一般管理費))／修正医業収益×100とする。					(注1)対修正医業収益診療材料費比率は、診療材料費(医業費用)／修正医業収益×100とする。 (注2)対修正医業収益薬品費比率は、薬品費(医業費用)／修正医業収益×100とする。 (注3)対修正医業収益委託費比率は、(委託費(医業費用)+委託費(一般管理費))／修正医業収益×100とする。 (注4)対修正医業収益減価償却費比率は、(減価償却費(医業費用)+減価償却費(一般管理費))／修正医業収益×100とする。						
【関連項目】					【関連項目】						
項目		2022年度実績			項目		2023年度実績				
後発医薬品の使用割合(%)		90.4			後発医薬品の使用割合(%)		92.8				
2 経営基盤の確立 地域住民に良質で安全な医療を継続して提供するため、地方独立行政法人の特長を活かした経営手法により経済性を発揮し、自立した経営基盤の確立を目指して更なる経営の健全化に取り組む。					2 経営基盤の確立 地域住民に良質で安全な医療を継続して提供するため、地方独立行政法人の特長を活かした経営手法により経済性を発揮し、自立した経営基盤の確立を目指して更なる経営の健全化に取り組む。						
【目標指標】					【目標指標】						
項目		2022年度実績		2025年度目標		指標		2023年度実績		2025年度目標	
対修正医業収益運営費負担金比率(%)		7.6		5.7		対修正医業収益運営費負担金比率(%)		7.6		5.7	
(注)対修正医業収益運営費負担金比率は、運営費負担金／修正医業収益×100とする。					(注)対修正医業収益運営費負担金比率は、運営費負担金／修正医業収益×100とする。						
第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置					第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置						
1 施設整備等に関する事項					1 施設設備等に関する事項						
(1) 病院再整備事業 施設の経年使用による老朽化や医療技術、施設基準の改変等による狭隘化への対策及び施設の長寿命化対策を図るとともに、地域医療構想を踏まえ、人口減少、少子・高齢化の進展を背景とする将来の医療需要や医療環境の変化に対応するため、病院再整備事業を推進する。											
【目標指標】											
指標		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度						
病院再整備事業計画		基本設計	実施設計	新棟建設	既存棟改修						
(2) 施設設備等の維持管理 長野市民病院が開院以来提供してきた高度で安全・良質な医療を将来にわたって持続的に提供できるよう、日常の維持管理を行うとともに、中期的な視点に立って適正かつ効率的に保守点検や修繕、設備の更新を実施する。 また、施設設備を運用する中で、延床面積あたりのCO ₂ 排出量の年率1%削減に取り組むなど、環境への配慮に努める。					(1) 施設設備等の維持管理 長野市民病院が開院以来提供してきた高度で安全・良質な医療を将来にわたって持続的に提供できるよう、日常の維持管理を行うとともに、中期的な視点に立って適正かつ効率的に保守点検や修繕、設備の更新を実施する。 また、施設設備を運用する中で、延床面積あたりのCO ₂ 排出量の年率1%削減に取り組むなど、環境への配慮に努める。						

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)	2025年度(令和7年度)年度計画																																																																																																												
	2 その他																																																																																																												
	(1) 30周年記念事業に関する事項																																																																																																												
	開院30周年を迎えるにあたり、記念式典や講演会、祝賀会などの記念事業を実施する。																																																																																																												
第6 予算(人件費の見積りを含む)、収支計画、資金計画	第5 予算(人件費の見積りを含む)、収支計画、資金計画																																																																																																												
1 予算(2022年度から2025年度まで)	1 予算(2025年度)																																																																																																												
(単位:百万円)	(単位:百万円)																																																																																																												
<table> <tr> <th>区分</th><th>金額</th></tr> <tr> <td>収入</td><td></td></tr> <tr> <td> 営業収益</td><td>69,364</td></tr> <tr> <td> 医業収益</td><td>64,418</td></tr> <tr> <td> 運営費負担金</td><td>4,172</td></tr> <tr> <td> その他営業収益</td><td>774</td></tr> <tr> <td> 営業外収益</td><td>596</td></tr> <tr> <td> 運営費負担金</td><td>238</td></tr> <tr> <td> その他営業外収益</td><td>358</td></tr> <tr> <td> 資本収入</td><td>4,509</td></tr> <tr> <td> 長期借入金</td><td>4,309</td></tr> <tr> <td> その他資本収入</td><td>200</td></tr> <tr> <td>計</td><td>74,469</td></tr> <tr> <td>支出</td><td></td></tr> <tr> <td> 営業費用</td><td>62,586</td></tr> <tr> <td> 医業費用</td><td>61,500</td></tr> <tr> <td> 給与費</td><td>31,886</td></tr> <tr> <td> 材料費</td><td>19,971</td></tr> <tr> <td> 経費</td><td>9,404</td></tr> <tr> <td> 研究研修費</td><td>240</td></tr> <tr> <td> 一般管理費</td><td>1,086</td></tr> <tr> <td> 営業外費用</td><td>619</td></tr> <tr> <td> 資本支出</td><td>8,389</td></tr> <tr> <td> 建設改良費</td><td>5,763</td></tr> <tr> <td> 償還金</td><td>2,617</td></tr> <tr> <td> その他資本支出</td><td>8</td></tr> <tr> <td>計</td><td>71,594</td></tr> </table>	区分	金額	収入		営業収益	69,364	医業収益	64,418	運営費負担金	4,172	その他営業収益	774	営業外収益	596	運営費負担金	238	その他営業外収益	358	資本収入	4,509	長期借入金	4,309	その他資本収入	200	計	74,469	支出		営業費用	62,586	医業費用	61,500	給与費	31,886	材料費	19,971	経費	9,404	研究研修費	240	一般管理費	1,086	営業外費用	619	資本支出	8,389	建設改良費	5,763	償還金	2,617	その他資本支出	8	計	71,594	<table> <tr> <th>区分</th><th>金額</th></tr> <tr> <td>収入</td><td></td></tr> <tr> <td> 営業収益</td><td>16,919</td></tr> <tr> <td> 医業収益</td><td>15,970</td></tr> <tr> <td> 運営費負担金</td><td>867</td></tr> <tr> <td> その他営業収益</td><td>82</td></tr> <tr> <td> 営業外収益</td><td>120</td></tr> <tr> <td> 運営費負担金</td><td>37</td></tr> <tr> <td> その他営業外収益</td><td>83</td></tr> <tr> <td> 資本収入</td><td>198</td></tr> <tr> <td> 長期借入金</td><td>198</td></tr> <tr> <td> その他資本収入</td><td>0</td></tr> <tr> <td>計</td><td>17,236</td></tr> <tr> <td>支出</td><td></td></tr> <tr> <td> 営業費用</td><td>15,848</td></tr> <tr> <td> 医業費用</td><td>15,584</td></tr> <tr> <td> 給与費</td><td>8,143</td></tr> <tr> <td> 材料費</td><td>5,095</td></tr> <tr> <td> 経費</td><td>2,285</td></tr> <tr> <td> 研究研修費</td><td>61</td></tr> <tr> <td> 一般管理費</td><td>265</td></tr> <tr> <td> 営業外費用</td><td>134</td></tr> <tr> <td> 資本支出</td><td>652</td></tr> <tr> <td> 建設改良費</td><td>406</td></tr> <tr> <td> 償還金</td><td>244</td></tr> <tr> <td> その他資本支出</td><td>2</td></tr> <tr> <td>計</td><td>16,634</td></tr> </table>	区分	金額	収入		営業収益	16,919	医業収益	15,970	運営費負担金	867	その他営業収益	82	営業外収益	120	運営費負担金	37	その他営業外収益	83	資本収入	198	長期借入金	198	その他資本収入	0	計	17,236	支出		営業費用	15,848	医業費用	15,584	給与費	8,143	材料費	5,095	経費	2,285	研究研修費	61	一般管理費	265	営業外費用	134	資本支出	652	建設改良費	406	償還金	244	その他資本支出	2	計	16,634
区分	金額																																																																																																												
収入																																																																																																													
営業収益	69,364																																																																																																												
医業収益	64,418																																																																																																												
運営費負担金	4,172																																																																																																												
その他営業収益	774																																																																																																												
営業外収益	596																																																																																																												
運営費負担金	238																																																																																																												
その他営業外収益	358																																																																																																												
資本収入	4,509																																																																																																												
長期借入金	4,309																																																																																																												
その他資本収入	200																																																																																																												
計	74,469																																																																																																												
支出																																																																																																													
営業費用	62,586																																																																																																												
医業費用	61,500																																																																																																												
給与費	31,886																																																																																																												
材料費	19,971																																																																																																												
経費	9,404																																																																																																												
研究研修費	240																																																																																																												
一般管理費	1,086																																																																																																												
営業外費用	619																																																																																																												
資本支出	8,389																																																																																																												
建設改良費	5,763																																																																																																												
償還金	2,617																																																																																																												
その他資本支出	8																																																																																																												
計	71,594																																																																																																												
区分	金額																																																																																																												
収入																																																																																																													
営業収益	16,919																																																																																																												
医業収益	15,970																																																																																																												
運営費負担金	867																																																																																																												
その他営業収益	82																																																																																																												
営業外収益	120																																																																																																												
運営費負担金	37																																																																																																												
その他営業外収益	83																																																																																																												
資本収入	198																																																																																																												
長期借入金	198																																																																																																												
その他資本収入	0																																																																																																												
計	17,236																																																																																																												
支出																																																																																																													
営業費用	15,848																																																																																																												
医業費用	15,584																																																																																																												
給与費	8,143																																																																																																												
材料費	5,095																																																																																																												
経費	2,285																																																																																																												
研究研修費	61																																																																																																												
一般管理費	265																																																																																																												
営業外費用	134																																																																																																												
資本支出	652																																																																																																												
建設改良費	406																																																																																																												
償還金	244																																																																																																												
その他資本支出	2																																																																																																												
計	16,634																																																																																																												
(注1)計数は、端数をそれぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。 (注2)期間中の診療報酬の改定、給与改定、物価の変動は考慮していない。	(注1)計数は、端数をそれぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。 (注2)期間中の診療報酬の改定、給与改定、物価の変動は考慮していない。																																																																																																												
ア 人件費の見積り 期間中総額 32,779 百万円を支出する。 なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。 イ 運営費負担金の基準等 運営費負担金については、総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じ算定した額とする。 また、建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金については、経常費助成のための運営費負担金とする。	ア 人件費の見積り 期間中総額 8,358百万円を支出する。 なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。 イ 運営費負担金の基準等 運営費負担金については、総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じ算定した額とする。 また、建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金については、経常費助成のための運営費負担金とする。																																																																																																												

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)		2025年度(令和7年度)年度計画	
2 収支計画(2022年度から2025年度まで)		2 収支計画(2025年度)	
(単位:百万円)		(単位:百万円)	
区分	金額	区分	金額
収入の部	68,182	収入の部	17,016
営業収益	67,613	営業収益	16,904
医業収益	62,396	医業収益	15,890
運営費負担金収益	4,172	運営費負担金収益	867
資産見返負債戻入	284	資産見返負債戻入	67
その他営業収益	761	その他営業収益	79
営業外収益	568	営業外収益	113
運営費負担金収益	238	運営費負担金収益	37
その他営業外収益	330	その他営業外収益	75
臨時利益	0	臨時利益	0
支出の部	67,805	支出の部	17,251
営業費用	66,869	営業費用	17,050
医業費用	65,730	医業費用	16,772
給与費	32,997	給与費	8,455
材料費	18,162	材料費	4,632
経費	10,247	経費	2,499
減価償却費	4,108	減価償却費	1,132
研究研修費	217	研究研修費	54
一般管理費	1,139	一般管理費	278
営業外費用	936	営業外費用	201
臨時損失	0	臨時損失	0
純利益	377	純利益	△235
目的積立金取崩額	0	目的積立金取崩額	0
総利益	377	総利益	△235
(注1)計数は、端数をそれぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。 (注2)期間中の診療報酬の改定、給与改定、物価の変動は考慮していない。 (注3)病院再整備事業及び高額医療機器等の更新整備による影響を除く総利益は1,836百万円となる。 (注4)各年度の収支計画については、別紙2を参照。 (注5)時期中期計画の最終年度である2029年度に黒字化する計画である。(※別紙3を参照)		(注1)計数は、端数をそれぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。 (注2)期間中の診療報酬の改定、給与改定、物価の変動は考慮していない。 (注3)病院再整備事業及び高額医療機器等の更新整備による影響を除く総利益は85百万円となる。	

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)		2025年度(令和7年度)年度計画	
3 資金計画(2022年度から2025年度まで)		3 資金計画(2025年度)	
(単位:百万円)		(単位:百万円)	
区分	金額	区分	金額
資金収入	99,759	資金収入	23,440
業務活動による収入	67,837	業務活動による収入	17,038
診療業務による収入	62,527	診療業務による収入	15,970
運営費負担金による収入	4,410	運営費負担金による収入	904
その他の業務活動による収入	900	その他の業務活動による収入	164
投資活動による収入	24,826	投資活動による収入	6,204
定期預金の払戻による収入	24,716	定期預金の払戻による収入	6,204
その他の投資活動による収入	110	その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	4,457	財務活動による収入	198
長期借入による収入	4,457	長期借入による収入	198
その他の財務活動による収入	0	その他の財務活動による収入	0
前期中期目標期間からの繰越金	2,640	前期中期目標期間からの繰越金	-
資金支出	99,759	資金支出	23,169
業務活動による支出	62,272	業務活動による支出	15,753
給与費支出	32,867	給与費支出	8,358
材料費支出	19,506	材料費支出	5,095
その他の業務活動による支出	9,898	その他の業務活動による支出	2,300
投資活動による支出	30,878	投資活動による支出	6,612
有形固定資産の取得による支出	5,233	有形固定資産の取得による支出	406
定期預金の預入による支出	23,816	定期預金の預入による支出	6,204
長期性預金の預入による支出	1,300	長期性預金の預入による支出	0
その他の投資活動による支出	529	その他の投資活動による支出	2
財務活動による支出	4,033	財務活動による支出	804
移行前地方債償還債務の償還による支出	2,617	移行前地方債償還債務の償還による支出	244
長期借入金等の返済による支出	417	長期借入金等の返済による支出	302
その他の財務活動による支出	998	その他の財務活動による支出	257
次期中期目標期間への繰越金	2,577	次期中期目標期間への繰越金	271
(注1)計数は、端数をそれぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。 (注2)期間中の診療報酬の改定、給与改定、物価の変動は考慮していない。		(注1)計数は、端数をそれぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。 (注2)期間中の診療報酬の改定、給与改定、物価の変動は考慮していない。	

第3期中期計画(公立病院経営強化プラン)	2025年度(令和7年度)年度計画
第7 短期借入金の限度額	第6 短期借入金の限度額
1 限度額	1 限度額
1,200百万円	1,200百万円
2 想定される短期借入金の発生理由	2 想定される短期借入金の発生理由
(1) 賞与支給による一時的な資金不足への対応 (2) 大規模災害や予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給など偶発的な出費への対応 (3) 医療機器等の購入に係る一時的な資金不足への対応 (4) 上記の理由に加え、運用資産を取り崩すことが適当でないと認められる場合	(1) 賞与支給による一時的な資金不足への対応 (2) 大規模災害や予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給など偶発的な出費への対応 (3) 医療機器等の購入に係る一時的な資金不足への対応 (4) 上記の理由に加え、運用資産を取り崩すことが適当でないと認められる場合
第8 出資等に係る不要財産の処分に関する計画	
なし	
第9 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	
なし	
第10 剰余金の使途	第7 剰余金の使途
決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、研修や教育など人材育成と能力開発の充実に充てる。	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、研修や教育など人材育成と能力開発の充実に充てる。
第11 料金に関する事項	
1 使用料及び手数料	
病院の使用料及び手数料は、次に定める額とする。 (1) 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法(平成9年法律第123号)、その他の法令等に基づき算定した額 (2) (1)に掲げるもの以外の額は、理事長が別に定める。	
2 料金の納付	
料金は、診療等を受けたとき又は文書の交付を受けたときに納付しなければならない。ただし、理事長が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。	
3 使用料等の減免	
料金は、理事長が特別の理由があると認めるときは、使用料等の全部又は一部を減免することができる。	

第3期中期計画（公立病院経営強化プラン）				2025年度（令和7年度）年度計画			
第12 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項				第8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
1 施設及び設備に関する計画（2022年度から2025年度まで）				1 施設及び設備に関する計画（2025年度）			
施設及び設備の内容		予定額	財源	施設及び設備の内容		予定額	財源
病院施設、医療機器等整備		総額 5,884百万円	自己資金等	病院施設、医療機器等整備		総額 406百万円	自己資金等
2 中期目標期間を超える債務負担							
(1) 移行前地方債償還債務							
(単位：百万円)							
年度 項目		中期目標期間 償還額	次期以降 償還額	総債務 償還額			
移行前地方債償還債務		2,617	2,685	5,303			
(2) 長期借入金償還債務							
(単位：百万円)							
年度 項目		中期目標期間 償還額	次期以降 償還額	総債務 償還額			
長期借入金償還債務		417	3,951	4,368			
3 積立金の処分にに関する計画							
前期中期目標期間繰越積立金については、病院施設の整備、医療機器等の購入、研修や教育など人材育成と能力開発の充実に充てる。							